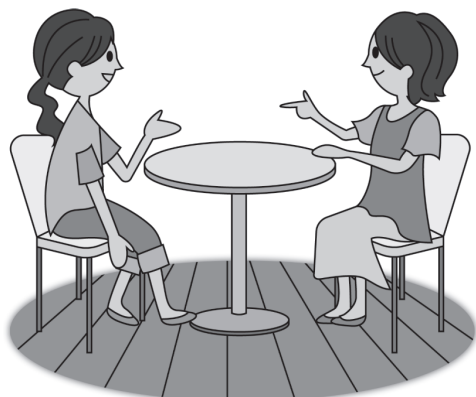


受験時の過ごし方



準備



遠方から来る受験生の方は、遅くとも受験前日の昼ごろには京都に到着できるように余裕を持って出発しましょう。早め早めの行動が肝心です。出発時には、忘れ物のないように十分に確認しましょう（→詳しくは裏表紙のチェックリストを確認！）。京都は昼間と夜間の寒暖差が激しいです。また、試験会場は当日行ってみるまで暖かいのか、寒いかわかりません。調節がしやすいように、薄手ものを重ね着すると良いでしょう。その際センター試験などと同様に、英単語などがプリントされたものは避けるようにしましょう。防寒着も脱ぎ着しやすいものを用意しておくといいですよ。

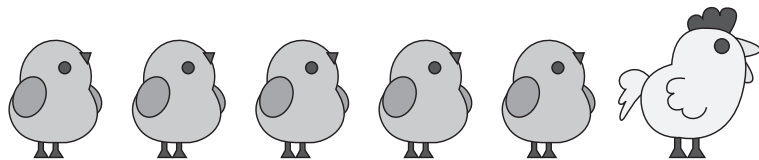
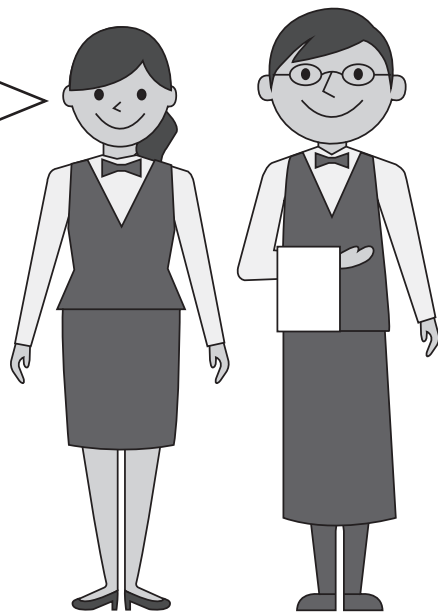


下見



受験当日に迷うことがないように、前日までに自宅・ホテルから試験会場までの行き方を確認しておきましょう。大学構内に設置される各学部の掲示板には、試験会場となる教室や当日の集合時間・集合場所などの注意事項が細かく記されています。試験会場や集合場所は学科や受験番号により異なるので、必ず自分の目で確認し、メモをしておきましょう。下見に行けない場合は、送られてくる受験票や地図などでしっかり確認することが望ましいです。

この冊子にもアクセス方法（→p.14～17）などが載っているので、ぜひチェックしてみてくださいね。



受験生へのアドバイス

受験票を忘れないようにしましょう!!

～前日編～



下見後



下見の後、夕食までしばらく時間が空くことがあります。この時間の過ごし方は本当に人それぞれです。勉強はもちろん、キャンパス内を散歩してモチベーションを高めるのも良いですね。何をにしても、この時間にあまり疲れをためないようにすることが大切です。ほどよくリラックスしながら過ごすようにしましょう。

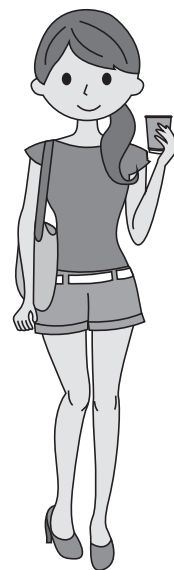


夕食・夕食後



意外と重要なのが受験前日の食事。重い食事は受験当日の体調に悪影響を及ぼしかねません。次のページの『受験生におくる食事のすすめ』を参考にしてください。

夕食後は受験当日の朝に焦ることがないように、受験票や筆記用具といった持ち物の準備を早めに済ませておきましょう（→裏表紙）。もう準備したから大丈夫なんて思わずに、繰り返し確認しておきましょう。試験前で緊張していたり、不慣れな場所で疲れがたまっていたりするはず。お風呂に入り体をしっかり温めて疲れを取るのがオススメです。



就寝



夜は早めに寝ましょう！ 寝不足で本来の実力が発揮できなかった……なんてことは避けたいですね。とはいえ、緊張でなかなか眠れない人も多と思います。横になって目を閉じるだけでも十分に体と脳を休めることができます。どうしても落ち着かないという人は、深呼吸したり好きな音楽を聴いたりして自分なりの方法でリラックスすることを心がけましょう。

☆☆☆ 受験前日・当日の印象的なエピソード



タクシーの運転手に5円玉のお守りをもらった

